



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月6日

上場会社名 ヌシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有坂 昌規

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 2024年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	39,628	15.8	3,016	269.5	3,838	246.8	2,911	558.0
2023年3月期第3四半期	34,234	23.9	816	3.4	1,106	22.8	442	56.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,525百万円 (35.4%) 2023年3月期第3四半期 4,817百万円 (96.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	213.89	
2023年3月期第3四半期	32.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	62,941	43,049	64.3	2,973.07
2023年3月期	56,283	36,984	61.6	2,545.72

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 40,462百万円 2023年3月期 34,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		10.00	20.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				50.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,950	13.2	3,730	255.3	4,770	230.6	3,160	251.6	232.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	13,900,065 株	2023年3月期	13,900,065 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	290,464 株	2023年3月期	290,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	13,609,656 株	2023年3月期3Q	13,609,703 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、2024年2月6日(火)に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、世界的なインフレに対する金融引締めの影響、中東情勢や米中の地政学リスクの高まり、中国経済の減速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。また日本経済においては、新型コロナウイルス感染症が収束し、社会経済活動の正常化が進んでいますが、円安基調の継続、原材料価格の高止まりなど、引き続き景気の先行きを注視していく必要があります。

このような状況下、当社においては、中期経営計画『RECOVER PLUS』の最終年度として、引き続き収益性の改善を第一に各種施策を進めてまいりました。当社の事業環境としましても、依然として原材料価格が高い水準にあり厳しい状況が続いておりますが、中期経営計画における経営目標達成に向けてグループを挙げて取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比15.8%増の39,628百万円、営業利益は前年同期比269.5%増の3,016百万円、経常利益は前年同期比246.8%増の3,838百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比558.0%増の2,911百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		13,290	38.8	15,057	38.0	1,767	13.3
海外	南北アメリカ	12,455	36.4	15,360	38.8	2,905	23.3
	中国	4,361	12.7	4,264	10.7	△97	△2.2
	東南アジア/インド	4,127	12.1	4,945	12.5	817	19.8
	海外合計	20,944	61.2	24,570	62.0	3,626	17.3
日本+海外合計		34,234	100.0	39,628	100.0	5,393	15.8

②セグメント別営業利益又は損失(△)

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		△3	—	745	22.1	749	—
海外	南北アメリカ	694	—	2,024	60.2	1,330	191.7
	中国	218	—	106	3.2	△112	△51.4
	東南アジア/インド	251	—	489	14.5	237	94.5
	海外合計	1,164	—	2,620	77.9	1,456	125.1
日本+海外合計 (調整額除く)		1,160	—	3,366	100.0	2,205	190.0

③セグメント別概況

(日本)

半導体等の部材不足による自動車メーカーの減産の影響が緩和したことに加え、販売価格の改定の影響もあって増収となり、前年同期の営業赤字から大きく回復し営業黒字に転じました。

(南北アメリカ)

北米の景気は底堅く推移しており、前期において顧客の稼働率低下の影響を受けていた拠点においても急速に販売が回復し、またそれぞれの拠点において販売価格の改定も進んだことから、大幅な増収・増益となりました。

(中国)

景気の先行きに不安が見られる中、急激なEV化シフトによる日系自動車メーカーの苦戦により販売数量は伸びず減収となりましたが、収益性の改善に努めた結果、第2四半期の営業赤字から営業黒字に転じました。

(東南アジア/インド)

各拠点において顧客の稼働率は回復基調にあり、一部の拠点において前期に実施できなかった顧客の販売価格の改定も進んだ結果、増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、62,941百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,658百万円増加しました。主な要因は、「現金及び預金」が3,895百万円、「受取手形及び売掛金」が1,543百万円、「投資有価証券」が803百万円増加したことによります。

負債は、19,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ593百万円増加しました。主な要因は、「長期借入金」が686百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が945百万円、「繰延税金負債」が398百万円増加したことによります。

純資産は、43,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,064百万円増加しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が2,702百万円変動、「利益剰余金」が2,473百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の見直しを行った結果、2023年8月4日付当社「四半期決算短信」にて発表しました2024年3月期の連結業績予想及び配当予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、本日(2024年2月6日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,028	11,924
受取手形及び売掛金	9,382	10,925
商品及び製品	2,521	2,615
原材料及び貯蔵品	4,626	4,763
その他	1,239	737
貸倒引当金	△25	△21
流動資産合計	25,773	30,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,882	3,994
機械装置及び運搬具（純額）	1,426	1,482
工具、器具及び備品（純額）	300	305
土地	5,168	5,201
リース資産（純額）	38	26
建設仮勘定	63	135
有形固定資産合計	10,879	11,145
無形固定資産		
のれん	1,949	2,007
顧客関連資産	1,994	2,140
技術資産	612	641
商標権	537	563
その他	404	589
無形固定資産合計	5,499	5,943
投資その他の資産		
投資有価証券	11,931	12,734
保険積立金	724	713
長期預金	15	2
退職給付に係る資産	412	412
繰延税金資産	101	114
その他	958	943
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	14,131	14,907
固定資産合計	30,509	31,996
資産合計	56,283	62,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,381	6,326
短期借入金	4,943	4,901
リース債務	98	105
未払金	854	754
未払法人税等	220	366
賞与引当金	367	293
役員賞与引当金	—	6
その他	1,485	1,496
流動負債合計	13,350	14,251
固定負債		
長期借入金	2,392	1,705
リース債務	138	131
繰延税金負債	1,900	2,298
役員退職慰労引当金	91	105
退職給付に係る負債	1,218	1,193
長期預り保証金	184	185
資産除去債務	20	20
固定負債合計	5,947	5,639
負債合計	19,298	19,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	24,855	27,329
自己株式	△384	△384
株主資本合計	32,651	35,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,738	2,325
為替換算調整勘定	400	3,102
退職給付に係る調整累計額	△143	△91
その他の包括利益累計額合計	1,994	5,336
非支配株主持分	2,338	2,587
純資産合計	36,984	43,049
負債純資産合計	56,283	62,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	34,234	39,628
売上原価	25,697	28,434
売上総利益	8,536	11,193
販売費及び一般管理費	7,719	8,177
営業利益	816	3,016
営業外収益		
受取利息	55	69
受取配当金	116	123
為替差益	—	54
持分法による投資利益	155	571
その他	107	81
営業外収益合計	434	900
営業外費用		
支払利息	47	34
為替差損	5	—
シンジケートローン手数料	63	—
その他	28	44
営業外費用合計	144	78
経常利益	1,106	3,838
特別利益		
関係会社株式売却益	—	24
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	3	24
特別損失		
関係会社出資金評価損	152	—
特別損失合計	152	—
税金等調整前四半期純利益	958	3,862
法人税等	384	869
四半期純利益	573	2,993
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	442	2,911

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	573	2,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	586
為替換算調整勘定	3,900	2,561
退職給付に係る調整額	15	52
持分法適用会社に対する持分相当額	329	331
その他の包括利益合計	4,244	3,531
四半期包括利益	4,817	6,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,382	6,252
非支配株主に係る四半期包括利益	435	272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	11,969	12,455	4,361	4,127	32,914	—	32,914
ビルメンテナンス 関連事業	1,320	—	—	—	1,320	—	1,320
顧客との契約から 生じる収益	13,290	12,455	4,361	4,127	34,234	—	34,234
外部顧客への売上高	13,290	12,455	4,361	4,127	34,234	—	34,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	914	9	—	17	941	△941	—
計	14,204	12,464	4,361	4,145	35,175	△941	34,234
セグメント利益又は 損失(△)	△3	694	218	251	1,160	△344	816

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△344百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△11百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△332百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	13,728	15,360	4,264	4,945	38,298	—	38,298
ビルメンテナンス 関連事業	1,329	—	—	—	1,329	—	1,329
顧客との契約から 生じる収益	15,057	15,360	4,264	4,945	39,628	—	39,628
外部顧客への売上高	15,057	15,360	4,264	4,945	39,628	—	39,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,002	4	—	79	1,086	△1,086	—
計	16,060	15,365	4,264	5,024	40,714	△1,086	39,628
セグメント利益	745	2,024	106	489	3,366	△349	3,016

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益の調整額△349百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が11百万円、クオリケムInc. 買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△360百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。